



1 住宅

● 住宅の建て方別の世帯数 (単位: 世帯)

	鶴見区	横浜市
一戸建	42,120	607,761
長屋建	1,118	23,214
共同住宅	84,899	971,904
その他	237	2,602
合計	128,374	1,605,481

資料: 平成 27 年国勢調査

鶴見区で持ち家に住む一般世帯は 58.6% だよ!



住宅の建て方を見ると、共同住宅が最も多く 84,899 世帯 (住宅に住む一般世帯数に占める割合 66.1%) と約3分の2の世帯が共同住宅に住んでいることとなります。次いで一戸建てが 42,120 世帯 (32.8%) となっています。

共同住宅に住む世帯の割合は66.1% (84,899 世帯) で、横浜市全体の 60.5% (971,904世帯) と比べ 5.6 ポイントも上回っています。

● 空き家率

	鶴見区	横浜市	全国
空き家率	10.7%	9.7%	13.6%
住宅総数(戸)	151,690	1,835,800	62,407,400
空き家数(戸)	16,280	178,300	8,488,600

資料: 平成 30 年住宅・土地統計調査

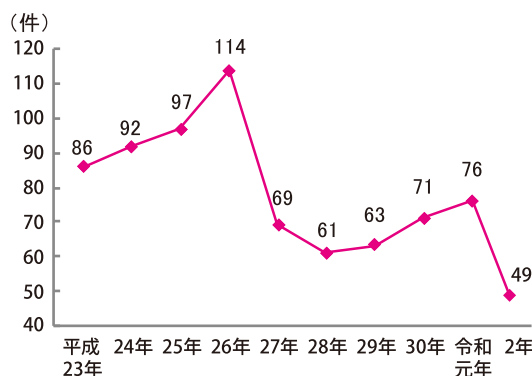
空き家率を見ると、鶴見区の空き家は16,280戸で10.7%を占めています。横浜市全体の9.7%に対し、鶴見区は空き家の割合が1.0ポイント高くなっています。

2 消防

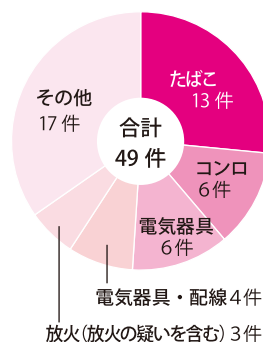
令和2年中の鶴見区内の火災発生件数は49件で、前年と比べると27件減少しました。火災原因としては、一番多いものが「たばこ」13件、次に「コンロ」、「電気器具」が共に6件となっています。

また、令和2年中の鶴見区内の救急車の出動件数は14,243件で前年を下回っていますが、出動理由は、急病が全体の69%を占め、その割合は前年を上回っています。

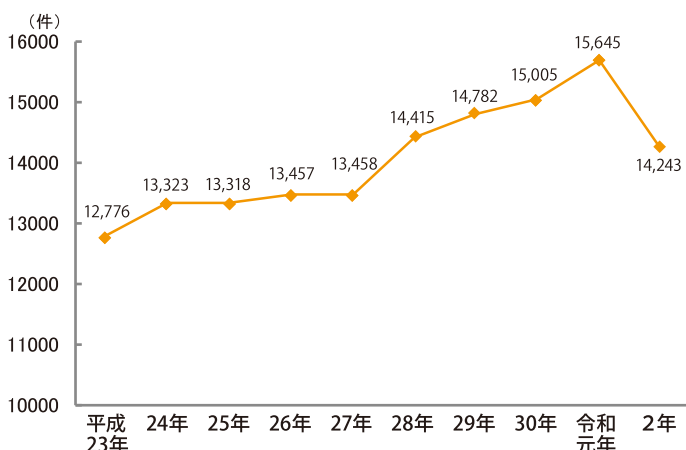
● 火災発生件数の推移



● 火災原因別件数



● 救急車出動件数の推移

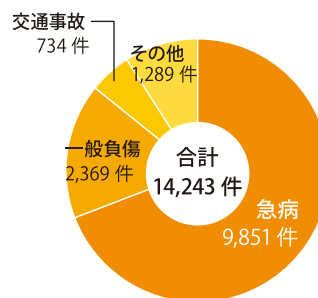


救急車の出動件数が増え過ぎると、空白地域\*の増加につながり、傷病者の救命率が低下する恐れがあるよ。

\*救急車が多数同時出場することで、その地域に救急車がない状態



● 救急車出動理由



資料: 令和2年鶴見消防署